



# **2019年度 外国人留学生後援会実施事業報告書**

福島大学 国際交流センター

## 目 次

1 . 留学生研修旅行の実施について.....	1
研修旅行参加者感想文 .....	2 ~ 19
2 . 春季新入留学生歓迎会について .....	20
3 . 秋期新入留学生歓迎会について .....	21
4 . 生活資金貸与について .....	22
5 . 外国人留学生後援会奨学金について.....	22
6 . 留学生住宅総合補償加入金の補助について .....	22
7 . 2019 年度の会費収入と使途について .....	23



## 1 留学生研修旅行の実施について

2019年度の留学生研修旅行は2020年2月24日（月・祝）日程で開催し、留学生19名が参加しました。2019年度の研修旅行は、当初10月22日に山寺近辺で予定していたが、大型台風の影響で中止となってしまいました。そのため、2020年2月22～24日で相馬でのホームステイを企画したが、新型コロナウイルスが猛威を振るっている時期の実施は危険と、中止と判断を下すことになりました。しかし、少しでも日本を感じる体験ができるようにホームステイ企画の内容を変更し、2月24日に日帰りで福島近辺を見学することとし、「いちご狩り（二本松）」「プリマート（三春）」「デコ屋敷大黒屋（郡山）」等に訪問しました。予定変更続きであり、規模を縮小した研修になってしまいましたが、参加した留学生にとっては、とても印象に残る貴重な体験となりました。



いちご狩り（二本松）



デコ屋敷大黒屋（郡山）



### 劉 旭彬（リュウ キョクヒン）【中国】

令和2年2月22日から始まる研修旅行は、例年と異なって新型コロナウイルスの影響で一日のみとなりました。にもかかわらず、学生同士の異文化交流や日本の文化を理解することができたと思いました。なぜなら、9カ国の学生たちと一緒に和田いちご園のいちご狩りからプリトマートへ、さらにデコ屋敷大黒屋まで体験することができたからです。

つまり、日本の食から日本の伝統文化まで触れることは、留学生である私たちにとってこれ以上の体験学習がないと、私は思いました。このため、この場を借りて、国際交流センターの先生方をはじめ、一緒に参加された留学生同士に心より感謝申し上げます。

普段、あまりいちごを食べない私でも研修旅行先のいちごがジューシーで美味しすぎて20数個を食べました。約一年間分といっても過言ではありません。また、様々な国から来た留学生と話しながら食べることが食欲をそそる効果を感じました。やはり楽しい雰囲気では何でも好きになることが分かりました。



私は日本の伝統文化である「デコ作り」が初めて体験しました。生地から自分の考えた模様で描くことが難しいですが私はこの作業を大好きになりました。なぜかという、私はスポーツといった体を動かすことばかりしていて、「デコ作り」のようなじっと集中して静かにすることがすくなく、落ち着くことを感じたからです。

一日あっという間に過ぎてしまいましたが、異文化交流ができたことに加えて、日本の文化も触れたこともできて大変達成感があったと思いました。「デコ」に「未来」の漢字を書いた通りに「前へ向いて前進する」という願望が実現するように頑張っていきたいと考えています。特に、今日パン

デミックである新型コロナウイルスに打ち勝つことが我々の助け合いであると、私は思いました。



## 高 天意（コウ テンイ）【中国】

二月二十二日に、私は研修旅行に参加して、とても有意義な一日を過ごしました。コロナウイルスでホームステイができなかったのは残念なところです。

まず、午前中はいちご狩りに行きました。この時間は私にとって、一番幸せの時間です。日本でいちごはほかの果物より高い商品で、たまに買うものでしかないですから、こういうときが食べ放題するなんて、すごくテンションが上がりました。A、B、C 三つの区域に分けられて、違う種類があります。みんなは始まる所から一番近い A 区に行くと推測し、私は B 区から食べるとしました。B 区のいちごはすっぱくて、甘いです。大きさは中の上です。それから、C 区に行って、この区域内のいちごはすごく甘くて、大きいです。最後は A 区です、ほかの区域と比べてすっぱくて、大きさも小さいです。もし投票するなら、私は C 区に一票を上げます。今までいちごを食べるときは何もつかないが、今度は練乳をかけたいちごは絶品と思います。

そして、昼ご飯はパッフェです。野菜は福島で自分で作った野菜を使い、健康的な昼ご飯です。あそこのレストランで、自分で鍋を作ることができます、つゆを選び、野菜と肉団子を合わせたいっぱいです。食後にデザートアイスとフルーツサラダがあって、とても満足です。食事の後、ショッピングの時間です。中に工芸品がいっぱいあります。目がとても幸福です。

午後は大黒屋にミニ達磨を作りました。作るには一番重要なことは緊張しないことだと思います。なぜなら、緊張したら、手がふるえて、紋様がずれてしまうからです。自分は伝統的なデザインを選びましたけど、ほかの人はオリジナルのデザインを描いた達磨で、上手すぎて店の商品みたいです。とても羨ましい。

日程は短くなったが、とても楽しかった一日です。

## 王 俊政（オウ シュンセイ）【中国】

2 月 22 日、ちょうどいいぐらいの気温だった。

コロナウィルスのため、ホームステイの活動がキャンセルされた。少し残念だが、明るい気持ちを込めて、1 日の旅に出発した。

first station はマルナカファームだった。田野に四つのビニールハウスが建てているところで、地味な感じだった。人生初めてのイチゴ狩りはここで始まるのかを考えながらバスを降りた。簡単な説明を聞いて、みんな各自イチゴ狩りを始めた。イチゴを摘んで味わって、妙な体験だった、練乳をつけて食べると、さらに美味しくなった、このベストな組み合わせを発見した人はすごいでしょう。

そろそろお昼の時間だ、お腹のことを大事にしている俺はグーグーと鳴っているお腹を無視してはいけなから、ちょっと名残惜しいが、みんなと一緒にレストラン向けのバスに入った。

程なく、山の中にあるレストランに着いた。僻地のところなのにパーキングはいっぱいだった。店に入って、こんなに大勢とは？！この店は自然に親しんで、自家の野菜で料理を作るそうだ。なるほど、だから人気あるね。

午後、デコ屋敷大黒屋という日本伝統的な建物に着いた。自分が大好きな猫ななちゃんの顔を参考し、ななちゃんが見たら嬉しくなるかなと思って、真剣にだるまに絵付した。普段には描くのが苦手だが、今回はうまく行けた、ななちゃんがパワーをくれたかもしれない(笑)。

1 日の旅が終わった、いろいろ体験した今日はこの人生の中で噛みしめるべき日だと思う。

## 于 秋麗（ウ シュレイ）【中国】

二月下旬の頃に、大学のほうが行われた日帰りの研修旅行に参加しました。研修旅行の予定通りでイチゴ狩、三春にあるレストランで食事し、伝統民芸づくりデコ屋敷大黒屋でだるま作り体験をしました。

初めて訪れた場所は二本松市にあるマルナカファームです。マルナカファームでは、イチゴ栽培のビニールハウスは五つあり、各ビニールハウスにおいしいベリー、アイベリー、あまおうなどの品種が栽培しています。品種の違いによる食感と甘さはそれぞれ違い味わえますが、個人的に美味しベリーのほうが一番好き、甘さはもちろん、粒の大きさにも抜群的でした。イチゴ園では、イチゴ狩のほかに取り立てのいちごを使用してスイーツやドライフルーツ、いちご模様のグッズなどが販売されます。留学生同士と一緒にイチゴを美味しくお腹にいっぱい満ちた後、イチゴのテーマのお土産でにぎわいました。

イチゴ狩終了後、バスで一時間半程度会津にあるバイキングレストランに到着しました。レストランは木造の建物で、露天休憩場所が設置されており、内部は内装から食器まで木造を中心に使用されたものが多く見られます。まるで森の中にいるように、自然感がいっぱい感じられ、とてもおしゃれなレストランでした。料理の種類はとても豊富で、和食はもちろん、洋食もずらっと並んでいました。そして、焼きたてのパン、鍋物、新鮮野菜のサラダ、多種類のスイーツなど並べられ、種類ごとに少しずつ食べても食べきれないほどでした。レストランのお隣にガーデン付きのお花屋さん、グッズストアなどの店がいくつかあり、楽しい食事の後に留学生同士と一緒に巡りまわりました。

旅行の最後のスポットでも最も楽しんでいるスポットでもあるのは 300 年歴史がある伝統手芸のデコ屋敷大黒屋です。大黒屋でだるま作りを体験しました。だるまの原型は貝殻で作成され、外側に白い粉を塗って乾燥してから完成といわれました。私たちが体験したのはだるまの原型作りではなく、完成しただるまの原型に自分が好きな絵柄を描くことでした。すなわち、後期の作業であると言えます。サイズでも形でもほぼ卵と同じくらいですが、だるまの上に絵柄を描くのは至難な業だと感じた一方、だるま職人の技術に感心していました。いただいただるまにお姫様の絵柄を書きましたが、眉や唇などの細かい部分はちょっと失敗してしまいました。他の留学生同士は猫、秋田犬、ドラえもんなどの絵柄を描く人がいました。皆の発想と上手な絵柄に頭を下がりました。最後で絵柄を完成しただるまは職人先生に自分の名前あるいは好きな文字を書いていただき、そうした自分しかないだるまが完成しました。

1 日の研修旅行では、日本の美食、美景そして伝統手芸だるま作り体験を楽しんでさせていただいた同時に普段は忙しくてあまり話す機会がなかった留学生同士と今回の研修旅行を機に楽しく交流ができました。とても有意義な研修旅行でした。



## 韓 聰慧（カン ソウケイ）【中国】

今回はもともとホームステイの活動は新型コロナウイルスのため、キャンセルになって、少々がっかりしたがその代わり、今までない体験をした。イチゴ狩りというイベントは前にも聞いたことがあったが、なかなか体験する機会がなかった、今回のおかげで、体験することができた。それとダルマの描きもついでに体験した、非常に有意義な一日を過ごした。

朝早く集合して、目的地に向かった。一緒に参加する仲間達も、ホームステイの取り消しによって、少し落ち込んだが、その中の一人が「イチゴ狩りも楽しいよ」と言われて、楽しみにした。場所に着いたら、早速イチゴ狩りに関する案内をされて、行動を始めた。目を見たところ全てイチゴという印象を強く残した、値段が高いため、普段イチゴを食べる機会が少ない、今回のイベントで思い切り食べると決めた。あそこのイチゴは今まで食べたイチゴより大きくて驚いた。最初は何もかけずにそのまま食べたが、練乳をかけて美味しいと勧められて、練乳かけて食べた。イチゴは思った以上腹いっぱいになりやすい、少し食べたら、お腹がいっぱいになって食べられなくなった。イチゴは甘くて、口に入れると幸せを感じた。



イチゴ狩りが終わったら、三春ブリーマートに昼ご飯を食べに行った。場所は遠く、車にいる時間は長い、イチゴを食べてお腹がいっぱいになったが、約一時間経って、昼ご飯をまたたくさん食べた。みんな話し合っ、楽しい時間を過ごした。外には小さな庭や花屋があって、とても可愛いところだ。

午後はダルマの描きを体験した。日本に来る前もダルマの写真を見たことがあったが、その時は日本の文化だけだと思って、実際に何の意味があるかを知らなかった。案内してくれた人は詳しく説明したおかげで、ダルマ本当の意味を理解した。その後一人ずつ小さなダルマに好きな描きをした。おそらく理想なダルマ絵は人によって違うだろう。私は元々のダルマの顔は怖くて、可愛くしてあげたいのでネズミの顔を描いた。

そして結果はみんなから可愛いという評判をもらった、非常に嬉しかった。

今回福島国際交流センター、そして、イベントを主催する方々に感謝したい。ウイルスのためホームステイはキャンセルしたが、他の楽しいイベントを体験することができた。これからもたくさんのイベントに参加し、日本文化を体験しようと考えている。



### 刘 子軒（リュウ シケン）【中国】

2020年2月22日に福島大学留学生ための研修旅行に参加した。新型コロナウイルスの感染拡大を避けるために、もとのホームステイをキャンセルした。ちょっと残念だけれども、一日の旅行も楽しかった！

朝から出発したらまずはマルナカファームが立ち寄った。いちご狩りというのは、いちご食べ放題だ！去年からここに来て、もう一度行くことを考えている。今回は夢が叶った！ほんとに幸せになった。

いちご狩りの後、プリマートに着いた。ここはヘルシーでナチュラルなビュッフェレストランである。ここの料理は天然成分で作られているため、健康に良いだけでなく、美味しいと感じる。朝イチゴを食べて、ビュッフェに行った。いっぱい食べるを感じる。

最後にデコ屋敷大黒屋に行った。まめだるまの絵付けを体験した。

孫悟空の顔に自分の名前を書いて、ちょっと微妙な感じを取るかもしれない。

今回の研修旅行の機会を与えてくれた福島大学と国際交流センターに本当に感謝している。これは非常に貴重な経験である。永遠にわすれないはずだ。



### 呉 宣（ゴ セン）【中国】

旅行の感想について、一番多いのは感謝です。

この日はイチゴ狩りを体験し、初めてフェイスブックを描いたり、人形を作ったりしました。親切な上司はとても親切でした。お昼は小さな鍋を食べて、いろいろな食べ物を食べて、先生のお供に感謝しました。

日本に来てから、初めての旅行です。



今回の旅行では、日本人の温かい気持ちとお客さんの温かい気持ち、おいしい日本食を体験できて、とてもうれしいです。

いろんな国の友達と一緒に旅行する機会ができて、すばらしい体験になりました。

もう一度先生方と同級生の皆さんにお付き合いいただきありがとうございました。



## ファム ティ トゥ グイット 【ベトナム】

福島大学と国際交流の支援へ言葉で言い合わせないほど感謝な気持ちでいっぱいです。皆様の助けることのおかげで、私は一日が楽しく過ごせました。

私はいちご狩りの活動とだるまの書き方を知っているとき、ワクワクして他の国の友達と交流するために機会だと思いました。22日の午前9時にバスでいちご狩りの農場に移動しました。ここで私たちは農場のスタッフによって非常に熱心に案内しました。コンデンスミルクを入れるためのカップが全員に与えられます。いちごはいろいろな種類があります。これはとちおとめ、おいCベリー、紅ほっぺ、もういっこです。どんな種類でも特徴的な味があります。もういっこ種類は適度に甘くジューシーです。紅ほっぺは他の種類と比べるとちょっと小さいです。私にとってはおいCベリーが一番好きです。これは甘くて大きくてジューシーです。噛むとイチゴのさわやかさとサクサク感が味わえます。ベトナムにはこのように大きさがあるいちごがありません。初めていちご狩りに参加するのは本当に楽しかった。

40分の観光を完了してから、私たちは昼ご飯のために、ピュッフェレストランに移動しました。そこで、私は中国友達としゃべりながらご飯を食べました。料理はとても美味しかった。

次に、私は面白いところに行きました。そこはだるま書きというところです。みんなはだるまをひとつずつもらって、自分で装置しました。上手に描くのはとても難しいです。だからこそ、職人たちは美しい作品を生み出すのにとても上手でした。私のだるまは犬を書きました。これは意義な活動だとも思います。

これは留学生にとって素晴らしいチャンスであり、日本の文化のある場所を訪問するための機会があります。そのような活動を作成していただきありがとうございます。これから、よろしくお願いします。



## レティトゥハー【ベトナム】

2月22日の研究旅行に参加しました。非常にたのしかったです。コロナウィルスの予防するためにホームステイは行えないとなっていますのでちょっと残念でした。しかし、春休み中に研究旅行を行ってくれて、本当にありがたいです。私は友達と楽しい時間と面白い体験をもらいました。

その日の朝マルナカファームでいちご狩りに行きました。初めて、新鮮で美味しいいちごを食べました。それは自分で直接選んですぐに食べたからでしょう。マルナカファームでいちごには色々な種類があります。それぞれの味が違うと感じました。それから、三春プリトマートでランチの食べ放題に行きました。それはとても豪華なレストランで、美しい空間があります。レストランのフラワーガーデンが本当に好きです。花を眺めながらストレスを和らげる時間を過ごしました。それから、デコ屋敷大黒屋で自分で豆だるま絵付をしました。私は絵を描くことが下手ですが自分の製品をできました。それはドラえもんの豆だるまです。みんなは誰でも自分の素敵な製品を持っています。そして、デコ屋敷大黒屋で豆だるま絵付の体験により、日本の文化についてもっと学びました。



## Md. Ferdous Alam 【バングラデシュ】

At around 08.40 am I picked the travel bus from the front entrance of the building of the Faculty of Economics and Business Administration.

Then we reached the Wada strawberry farm at 10.30 am. Firstly, we registered one by one and then entered the three (A, B, C) greenhouses, where the strawberry plants are cultivated. We were spending at about 45 minutes inside the farm. At that time, I picked a lot of strawberries directly from the plant and take it with sweet sauces. It was so tasty. I am very much



overwhelmed to see the strawberry garden with fruits. Because this plant is not popular in Bangladesh and I had never seen this type of farm in my life. I took some pictures of the garden.



Then we departed to Britomart for lunch and shopping. At Britomart, I enjoyed some of my favorite (Halal) food with the help of Rokkasho and Iwashita san. I also looked at the shopping market there. At around 1.30 pm we reached the Daikokuya: painting experience. I painted a cat type doll there. It was also my first experience. After a successful trip, I returned home at about 4.00 pm. Though it was a one day trip, it was so much enjoying. The tour mates and leaders were very co-operative. At last, I want to give thanks to the university authority for arranging such kind of tour for the international student.

### ミヤグマルダリ 【モンゴル】

こんにちは留学生ミヤグマルダリです。

二月のホームステイが残念ながらできなくなっても一日旅行になって素晴らしい楽しい時間を過ごしました。本当に感謝しています。

自分にとって初めてそんなにいろいろなイチゴを食べてみて嬉しかったです。とても美味しかったです。

そして、ブリトマートに行っておいしい料理もたくさん食べて、友達にプレゼントを買えました。

その後に行ったまめだるまの絵付けは面白くて嬉しかったです。自分のまめだるまにいいことを良く思って描いたから本当に嬉しかったです。

わたしの生活に忘れない思い出を作ってくれてありがとうございます。これからもよろしくお願いします。





## ナジ レナータ【ハンガリー】

もとの予定に基づいて2月に三日間のホームステイが行われたはずなのに新型コロナウイルスのせいで中止されました。その代わりに2月22日に一日旅行に行かせてくれました。それからホームステイに申し込んだ留学生たちと一緒に国際交流会館からバスで行きました。最初に高速道路のとなりにあるマルナカファームに止まって40分のいちご狩りを楽しみました。いちごは今まで見たことがなくて一口に入らないほど大きかったし種類が三つもありました。その上でハンガリー人として冬にいちごを育てることがあってびっくりしました。ハンガリーにいちごを食べられることが夏しかないし日本より美味しくないです。それから私はこのチャンスおかげでいちごを30個も食べました。



次に三春プリトマートに昼ご飯を食べに行きました。

プリトマートはその辺りに育てる材料から作った料理を食べられる場所です。私たちは福島大学が予約しておいたレストランで1時間の食べ放題で色々な料理を食べてみる事ができました。レストランの以外に福島県で育てた植物を売る花屋や手作り物を売るお土産屋などもあり

ました。私は福島県に育てる野菜と果物が美味しくて質がいいと体験できまして感謝します。

一日旅行の最後のプログラムはデコ屋敷大黒屋でだるまの絵付け体験でした。私たちのために絵付けに必要なものを準備しておかれてだるまをちゃんと説明されました。皆は自分のイメージによって様々なだるまを絵付けました。私はジブリスタジオの映画が好きなので可愛くて簡単にできるトトロのだるまを作りました。だるまを出来たら書道が上手名人にだるまに漢字で書いている自分の名前を書いてもらいました。このように皆は自分で出来た特別な思い出があります。



## フェール ユディット 【ハンガリー】

大学の2月22日から24日まで進んで、南相馬市である待望のホームステイ・プログラムは、残念ながら新型コロナウイルスのせいで中止になりましたが、その代わりに1日間の旅行のプログラムになりました。



この旅行の初めての乗り場は、福島県の二本松市であるマルナカファーム（いちご狩り）と言う場所でした。このファームであるハウス栽培している三種類の苺は、特定の時間まで食べ放題のように食べられる可能性がありました。

その三種類の苺はとても美味しくて、甘いだけではなかったし、たまに形もサイズも面白かったです。しかし、私にとって一番面白い事は、苺の栽培方法でした。ハンガリーの栽培方法

に比べて、そのファームで使った方法はとても便利だと思います。苺は鉢から飛び出して育てて、そのまま食べられるのはとてもいいアイデアだと思います。苺は汚くならないで、きれいに食べられますから。このファームに対してハンガリーで苺畑があり、そこでも苺は自由に食べたり、摘み取ったり可能性がありますが、摘み取った苺を目方を買っている習慣があります。



次の乗り場は三春町のプリトマートと言う場所でした。途中できれいな流れていく景色を眺めました。ここで少し休んで、食べ放題のランチを食べて、出発までに店で冷やかしました。

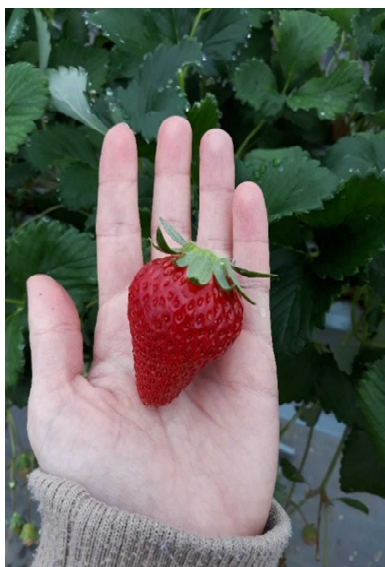




最後の乗り場は、福島県郡山市三春町にあるデコ屋敷大黒屋でした。そこである伝統的な家で、豆だるま絵付を体験する可能性がありました。豆だるまに任意の彩色と色々な綺麗な色から選ぶことができました。私は私の大好きな色、桃色を選んで、豆だるまに可愛い猫を描きました。だるまの彩色の後で、豆だるまを乾かして、デコ屋敷大黒屋の画家にあげて、彼は私が以前選んだ漢字をととても綺麗に豆だるまの後ろに書きました。私は、以前選んだ漢字が『白夢璽』でした。この機会は、アジア人ではない人として、自分の名前を漢字でどのように表現できるか考えるいい機会でした。

### ブローチャ レベッカ【ハンガリー】

2月22日に参加した旅行の感想に関して文章を書きます。福島大学国際交流会館からバスでやく30分ぐらいで、マルナカファームに着きました。途中でモンゴルのダリアさんと日本語でお話しをしたので、時間が早く立った気がしました。マルナカファームについた後、皆それぞれの小さいはこをもらいました。AからDまでの四つのハウスがありましたが、A、BとCハウスに入ることが出来ました。色々な種類の苺を食べ比べることが出来ました。甘さと大きさが本当に違うことに少し驚きました。以前ハンガリーでいちごは夏の最初の果物として6月しか食べたことありませんでしたので、2月に食べたのは初めてでした。ハンガリーでは夏の時ももやリングなどのフルーツのファームに収穫の時行きます。それに、決まっている時間の間にいくつでも取って、持って帰ることができるイベントがあります。でも、私はまだそういうプログラムに参加したことがありませんでした。また、いちご狩りが終わった後に入口のところで少し買い物などができる場所もありました。そこで、私にとって面白い商品はいちごから作った酢でした。



しばらくするとバスでプリトマートに着きました。そこで皆さんと一緒に昼ご飯を頂きました。季節の食材を使ったビュッフェスタイルのレストランでした。一時間ぐらいで好きな食べ物や飲み物を無料で選ぶことが出来て、嬉しかったです。色々な美味しい食べ物から少し食べてもお腹がいっぱいになりました。プリトマートに他のお店もありましたが、ゆっくり見るために最も時間が必要だと思います。

最後に大黒屋に行きました。バスで一時間ぐらいかかりました。バスを降りてから、大きくて、古い家のところに行きました。その家は江戸時代に作られたのを聞いて、凄いと思いました。家に入ると壁や壁に前にある筆筭に色々な形をしているでこが飾ってありました。それから、畳のお部屋に入って座布団に座りました。



皆それぞれに棒に刺した小さいダルマを頂きました。例としてもう色がついてあったダルマも頂きましたが、自分の好きな絵柄を書いても良かったです。私が今年はネズミの年がありますので、ミッキーマウスを描くことにしました。活動している中にはこれがイースターエッグを描くことに似ていると思いました。私の国では、イースターの時いつも家族とイースターエッグを書く習慣がありますから。自分の作品が仕上がってから、それに名前を漢字で書いて頂きました。そうしたら、写真の以外にその日の思い出になります。

一日の旅行でしたのに、三つの素晴らしい場所にも至ることが出来て、嬉しいです。福島県や日本の文化について新しいことを習って、体験出来て、ありがたいです。このプログラムに参加して本当に良かったと思っています。



### ミロシェヴィッチ ネヴェナ 【セルビア】

The weather was nice, perfect for an excursion involving strawberry picking. As we entered the bus we were immediately handed out masks and sanitized our hands, as COVID-19 had already spread to Japan by the time our trip came around, although there hadn't been any recorded cases in Fukushima at the time.

Our first stop was the Marunaka strawberry farms. We were given small plastic dishes to put condensed milk in, as well as the strawberries we would pick later on. For our group, we were allowed to enter three greenhouses and pick three types of strawberries. Some were sweeter, others were more on the sour side, but they were all very delicious, something I figured was Fukushima's specialty by now. Inside the reception building we had an opportunity to try strawberry vinegar and strawberry water and buy other sweets and products made of strawberries. With how tasty the strawberries were, little to say I perhaps ate a bit too much considering our next stop was a restaurant buffet. There was a variety of food we could pick from at the Britomart restaurant, from soups and starters to main courses, all the way to desserts. Besides the restaurant, there was also an area to buy souvenirs and other goods. After we were all done eating, we boarded back onto the bus and after a bit of a ride



arrived at our next location -- Daikokuya. We were welcomed by a kind lady into the traditional house decorated with many painted sculptures. We sat on the cushions by the low tables and picked up our brushes. We were given small daruma doll sculptures to paint and we all got to work. After we were done painting, we could give our daruma dolls to a professional to have them signed with the kanjis we chose for our names. We were also given small treats, such as ume and tea, and allowed to stroll around the second floor and see the displayed artwork. That concluded our one day trip. We were back at Fukushima city before the sun set, parting ways with the international center staff and going back to our rooms. The trip was a very refreshing and pleasant experience! I am really thankful for all the excursions organized by the international center as they are all really unique experiences I will never forget.

#### ミロシェヴィッチ ヨヴァナ 【セルビア】



When I think of strawberries, I think of a slightly sour taste and a sweet aroma to compliment it. That's why I usually eat my strawberries with sugar back in Serbia so I was a little uncertain how much I'd enjoy picking strawberries and eating them on the spot. Regardless, I was excited to finally eat strawberries after a long time. The first thing that appeared unusual to me was the sweet condensed milk they offered us to eat with our strawberries. In Serbia I don't think we even have that, and let alone eat strawberries with it. However, I poured some milk in my plastic container and went to pick strawberries with the other participants of the trip. My second shock was the taste of the strawberries. They were so sweet! I never tasted strawberries that good in my life. There were three types of strawberries growing at the farm and they all had different but really pleasant sweet flavors. I ate so many strawberries I was worried about how I would eat at the next destination of our trip - a buffet

restaurant, Britomart. However, I was wrong to worry. The ambience of the restaurant was really cozy and welcoming and the food was delicious. I've never been to such a place in my home country and I'd find it surprising if it even exists back there. I loved the variety of food we could have gotten. I particularly loved the red bean topping and shirodama. It was perfect with matcha ice cream! Another thing that I found really charming was that we could make our own nabe. Everything was delicious and I would love coming back there if I ever get the chance.

Our last activity was painting daruma dolls at a workshop specialized for that. It was really fun sharing ideas with the others present and showing each other what we did at the end. I was also really impressed by the calligraphy of one of the people that helped us write our names on the daruma dolls we painted. I loved looking at the display of different dolls crafted in the workshop and my admiration for this craft only grew. I had lots of fun and if I could do something like this again I definitely would.

Overall, while I was sad the homestay part of the trip was cancelled due to the pandemic, I enjoyed every bit of the activities we did on that one day.

### カリシニク ニーナ 【スロベニア】

On 22 of February, we had a one-day excursion with, other exchange students.

First, we visited the strawberry farm. For 90 minutes we could visit different greenhouses and eat as many strawberries as we wanted. There were different types of strawberries and all of them were delicious. We continued our journey to Britomart, where we had lunch at all you can eat buffet. They also had a store with local and hand made items that ranged from clothes, trinkets to plants and different tools. After this, we continued our way to the local craftsman that is mostly known for creating traditional Japanese dolls known as daruma (they do produce other kinds of dolls and sculptures). There we got the chance to paint our own daruma doll the way we liked it. I haven't painted in a while, so I really enjoyed it. This was also the ending of our short trip, the only thing left was the ride to the dormitory.





2月22日、私たちは他の交換留学生と1日の遠足をしました。

まず、マルナカファームを訪ねました。90分間、さまざまな温室を訪れて、好きなだけイチゴを食べることができました。イチゴにはいろいろな種類があり、どれも美味しかったです。それから、プリトマートへ行って、そこでピュッフェ形式で昼食をとりました。プリトマートではまた、地元の店で手作りのアイテムを買うことができます。例えば、衣服、小物入れ、植物、さまざまな工具を見つけました。その後、私たちはデコ屋敷大黒屋へと向かいました。日本の伝統的な達磨という人形を作ることができることで知られています。そこで、達磨を好きなように塗る機会を得ました。日本に来てからしばらく絵を描いてないので、楽しかったです。これは私たちの短い旅行の終わりでもあり、残った唯一のものは寮へ帰ることでした。

### ホウ シャオユ ロリナ 【ルーマニア】

At first I was disappointed that we could not stay overnight at the homestay but the trip was really fun nevertheless! I am so sad that this virus affected the lives of so many people. It's a pity that because of it, so many activities are being cancelled. On the other hand, I am happy to be here in Fukushima, because in my country there is a lot of panic and chaos right now and I like how things are being handled here with everyone being calm about it and responsible enough to wash their hands and avoid staying in crowds.



And now I want to show my appreciation for the trip that was organized. I am not kidding when I say that the strawberries I ate that day were the most delicious strawberries I have eaten in my life! After the first one I couldn't stop eating them, they were sweet and they had such a nice texture! Usually, I can't eat strawberries without a lot of sugar on them, but these were fine without it. I am really happy that I have got to experience eating them straight from the farm.

After that, we went to eat at the all-you-can-eat





buffet and the place was awesome! It had a great variety of foods and we were so happy to try them out! The food was delicious and the place was very nice and cozy. And the price for it was really good too!

And probably my favourite part of the tour was when we painted our own Daruma! I tried to make mine as cute as possible, one half of it was peachy pink and the other was yellow, because these are my favourite colours. His face looks rather ridiculous and funny but I loved doing it! I think in the end it was a cute Daruma! I know that usually you are supposed to make a wish and colour one eye and then, when the wish becomes true you can fill in the other eye. I can say that my wish was to have a nice and pleasant experience in Japan and by choosing Fukushima it became reality! I also

loved the old architecture of the place and the fact that we needed to leave our shoes at the entrance. I love when you need to take off your shoes because you know that place is clean and taken care of. I want to live in a Japanese traditional house with tatami on the floor.

If I could choose where to come in Japan, I would choose Fukushima all over again! I really love this place and everything I learned about it! The tour was great even though it was short and we understand the circumstances of the situation! I am sorry I can't write more right now, this was the only time I had access to my laptop.

Everytime I hear stories about Fukushima and the people living here I get emotional. It's been half a year since I came to Japan and I consider Fukushima my second home! I am really glad for coming here and I can't wait for the whole virus problem to be over so that people can enjoy life again!





## ウスト ニクラス 【ドイツ】



Even though I strongly regret to have missed the opportunity to stay at a host family's home, I was really happy to hear that we could still enjoy the activities that were scheduled for this trip. I looked forward to visiting a strawberry farm, since I had never visited a fruit farm in this scale. Although I am living on the countryside in Germany, and my home is actually located close to many farms and fields, I never saw fruits outside of a shop or a farmer's market. I was surprised to see how few is actually needed to grow them so beautifully in this scale, as I always thought it would be difficult to grow them without dents or damages. I also was not aware that you can find them in different types and varieties. The farm we visited grows 4 subtypes of strawberries, each with a different flavor and even with a different appearance. As I am sadly fructose intolerant and cannot eat fruits, I still did not feel bad to

have missed out on something. I collected the best-looking ones I could find and gave them to the others. It was all-you-can-eat after all, so I was happy enough to help my friends eat more, maybe too much even.



After eating a good meal at a farmer's market, we continued our bus ride to the day's last event, hand-coloring Japanese's daruma figurines. I was afraid before it started, as I am not skilled at drawing or working with my hands, really bad in my opinion. I still wanted to participate



though, for the experience of course. The people running this experience and the shop welcomed us warm-heartedly and gave us a quick tour and briefing on how to handle the raw, uncolored daruma on a stick. It is pretty simple actually, such as applying a base color, some design elements and a face. Everyone around me was really creative and made the best out of it. In the end my daruma did not turn out as nicely as others, but I am still proud of what I accomplished and fortunately my design was unique. After drying the color on the daruma with a hair dryer, a professional calligrapher awaited us and wrote the name of each person on their own daruma. Before the trip we were asked to research how we would like to write our names in Japanese kanjis, as it turns out those Kanjis were used to have the calligrapher sign our product. It is definitely something I am going to keep for the future.



## 2 春季新入留学生歓迎会について

実施日時	2019 年 4 月 17 日（水） 17：00～18：30
場 所	大学会館 2F 大集会室
参加者数	約 100 名

春季新入留学生歓迎会は、4 月入学の私費外国人留学生を含む新入留学生 23 名と、学生・教職員約 80 名が参加しました。国際交流サークル COLORs の進行のもと、多くの参加者と自己紹介をするアイスブレイキングで打ち解けた参加者は、和やかに歓談して楽しんでいました。終盤には本学職員による三味線の実演と体験が行われ、歓迎会を盛り上げました。



アイスブレイク



新入留学生



三味線体験



集合写真

### 3 秋期新入留学生歓迎会について

実施日時	2019 年 10 月 22 日 ( 火・祝 ) 12 : 00 ~ 14 : 00
場 所	国際交流会館
参加者数	約 80 名

秋期新入留学生28名の歓迎会が開催され、学生・教職員約80名が参加しました。進行と企画を国際交流サークルCOLORsにご協力いただき、アイスブレイクで打ち解けた参加者たちは、積極的に交流を図って楽しんでいました。余興の居合部やよさこいサークル源種の演技で、会場は大いに盛り上がりしました。



アイスブレイク



居合道の演技



よさこいの演技



新入留学生のあいさつ



## 4 生活資金の貸付について

臨時に資金が必要となった留学生 3 名に、5 万円の生活資金の貸付を実施しました。貸付金はすべて年度内に全額返済されました。

## 5 外国人留学生後援会奨学金について

今年度は以下 5 名に奨学金を支給しました。【支給額：1 人あたり月 1 万円（年間 12 万円）】奨学生は、学内外の国際交流イベントや地域交流活動に参加し、参加者と積極的に交流を図りました。

所 属	学 年	氏 名		国籍	性別
共生システム理工学類	3	王 澤	オウ サワ	中国	男
共生システム理工学類	3	李 岳	リ ガク	中国	男
共生システム理工学類	2	黄 友征	コウ ユウセイ	中国	男
地域政策科学研究科	1	李 芳	リ ホウ	中国	女
共生システム理工学研究科	1	李 雪	リ セツ	中国	女

## 6 留学生住宅総合補償の加入金補助について

留学生住宅総合補償制度を利用して、アパートに入居した留学生 8 名に対し、加入金の補助（2 年間：3,000 円、1 年間：1,500 円、半年間：750 円）を実施しました。

## 7 2019年度の会費収入と使途について

2019年度は、186名の会員の皆様に外国人留学生後援会に加入していただき、678,000円の会費収入がありました。（令和2年3月31日現在）

外国人留学生後援会では、会員の皆様から頂いた会費を、留学生に対して物心両面から援助することを目的とし、以下の4つの事業に活用させていただいております。

今後も皆様からご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 留学生への生活資金の貸与

（期限1年：最大5万円、貸付け前の審査有り）



交通事故や入院による急な支出が必要となった留学生や、勉強が忙しいため、アルバイトをすることができない留学生を支援します！

### 留学生への奨学金給付

『福島大学外国人留学生後援会奨学金』



奨学金支給対象者は、福島大学留学生の代表として、国際交流や後輩の学生生活支援に協力する義務があり、新入留学生のサポート作業などを行っています！

### 『留学生住宅総合補償』加入金補助

アパート入居時の保証人がいない留学生に対して行う機関保証



大学が機関保証をすることで、留学生がアパートの賃貸契約を行うことができます！

### その他（留学生交流イベント等への費用助成）



費用補助をいただき、新入留学生歓迎会や留学生研修旅行を行っています！